

METAPLANET



Super League に 2,100 ビットコインを現物出資し、米国ビットコイン・トレジャリー・プラットフォーム「Superplanet」を始動

Super League は「Superplanet, Inc.」に商号を変更し、43,000 BTC を保有し上場会社であるビットコイン保有量世界第 3 位のメタプラネットの支援を受ける米国ビットコイン・トレジャリー・プラットフォームとなります。

メタプラネットによる 5 年間のロックアップは、長期的なコミットメントを示すものであり、Nasdaq 上場会社である Superplanet と東京証券取引所上場会社であるメタプラネットは、共通のビットコイン・トレジャリー戦略のもとで連携します。

カリフォルニア州サンタモニカ及び東京、2026 年 8 月 18 日 (GLOBE NEWSWIRE) - Super League Enterprise, Inc. (Nasdaq: SLE、以下「Super League」) と株式会社メタプラネット (東証: 3350、以下「メタプラネット」) は本日、出資契約を締結したことを発表しました。本契約に基づき、メタプラネットは、米国の完全子会社である Metaplanet Holdings, Inc. を通じて、2,100 ビットコイン(以下「BTC」)(約 1 億 3,210 万米ドル相当)及び現金 250 万米ドルを Super League に拠出し、その対価として、1 株当たり 3.00 米ドルで Super League の普通株式 44,859,400 株を取得するとともに、同社の優先株式及びワラントを取得します(以下「本取引」といいます)。本取引のクロージング時に、Super League は「Superplanet, Inc.」に商号を変更し、メタプラネットの連結子会社となります。メタプラネットは Superplanet の発行済普通株式の約 95.7% (発行済プリファード・ワラントの行使を仮定した場合は約 93.6%) を保有することとなり、Nasdaq キャピタル・マーケットと東京証券取引所のそれぞれに 2 社によるビットコイン・トレジャリー・プラットフォームが誕生します。

本取引は、Nasdaq 上場の事業会社である Super League に対する、新規発行証券の第三者割当を通じて行う戦略的投資で、リバース・テイクオーバーや SPAC 取引ではありません。Super League は、確立されたゲーミング・メディア事業を維持しつつ Nasdaq 上場を継続するとともに、長期保有を前提とした新たな過半数株主を迎え、規律ある資本配分と持続的な株主価値の創出に取り組んでまいります。

メタプラネットの支援を受ける米国ビットコイン・トレジャリー・プラットフォーム

Superplanet は、米国の投資家にビットコイン・トレジャリーへの新たな投資手段を提供することを目的としています。具体的には、クロージング時点で 2,100 BTC を保有し、現在 43,000 BTC を保有するメタプラネットの支援の下、ビットコイン・トレジャリー戦略を推進するとともに収益事業を展開する Nasdaq 上場会社となります。ビットコイン・トレジャリー戦略は、Superplanet の長期的な株主価値をけん引する主要な原動力となることが期待され、Superplanet は米国で、メタプラネットは引き続き日本で、それぞれ資本を調達します。両社は連結グループとして、世界を代表する二つの資本市場を通じて、ビットコインの長期的な積み増しに必要な資金を調達してまいります。

Superplanet が永久優先株式その他の証券の発行を通じて、普通株式数を増加させることなく資本調達が可能となるため、Superplanet 普通株式 1 株当たりのビットコイン量の増加につながることも期待されます。かかる資本調達は、メタプラネットの普通株 1 株当たりに帰属するビットコイン保有量においても増加につながることを期待されます。グループ内に拠出されたビットコインがグループ外に流出することはなく、Superplanet が保有するビットコインはメタプラネットの財務諸表に連結されます。

Superplanet は、メタプラネット・グループのバランスシート、資本市場における実績、並びに資本配分・ビットコイン財務管理・ビットコインを活用したインカム創出戦略を通じて培った運営ノウハウを活用して事業を展開してまいります。その結果、日本と米国にそれぞれ一つの上場ビットコイン・トレジャリー・プラットフォームを有する連結グループが形成されます。各プラットフォームは、それぞれ独自の投資家基盤

と資本調達手段を有する一方、グループ全体で一体的に管理するビットコイン・ポジションを拡大していきます。Superplanet は、同規模の企業では通常アクセスが困難な条件及び規模で、資本市場を活用できる体制を構築してまいります。詳細は www.superplanet.com をご覧ください。

経営陣のコメント

メタプラネットの最高経営責任者（代表執行役 CEO）であるサイモン・ゲロヴィッチは、次のように述べています。「私たちは日本から世界最大級のビットコイン・トレジャリーを築き上げてきました。Superplanet は、世界で最も厚みのある資本市場の一つを有する米国で、私たちの事業を展開するための基盤となります。私たち自身のビットコインを抛出し、株式をロックアップするとともに、バランスシートと専門知識をもって Super League を支えています。これにより、日本と米国の二つの上場プラットフォームを通じて、連結ベースで一体的にビットコイン・ポジションを拡大していきます。」

Super League の最高経営責任者（CEO）であるマット・エデルマンは、次のように述べています。「この 1 年間、私たちは債務の解消、コストの削減、資本構成の簡素化という困難な仕事をやり遂げました。その規律ある取り組みが、今回のような変革的な機会を実現する基盤となりました。ビットコインは、現在の財政環境において企業のバランスシートで保有し得る最も有力な金融資産の一つであると私たちは考えています。メタプラネットとともに、確立された既存事業に、新たな企業成長の強力な原動力を加えることで、世界 33 億人のゲームプレイヤーへのリーチと影響力の拡大を目指す世界有数のブランドを支援していきます。これは単なる取引ではありません。上場会社がビットコインを軸として長期的な株主価値を創出する、新たなモデルの始まりです。」

本取引の概要

（1）当初投資

2,100 BTC（メタプラネットのビットコイン保有量の約 4.9%）及び現金 250 万米ドルを抛出し、1 株当たり 3.00 米ドルで普通株式 44,859,400 株を取得します（投資総額：約 1 億 3,460 万米ドル）。株式数は、2026 年 8 月 14 日午後 4 時（ニューヨーク時間）時点の Coinbase 取引所におけるビットコインの終値に基づき確定され、100 株単位に調整されています。当該株式数は、クロージングまでのビットコイン価格の変動にかかわらず変更されません。

（2）持分

メタプラネットは、クロージング後、Superplanet の発行済普通株式の約 95.7%（Superplanet の発行済プリファード・ワラントの行使を仮定した場合は約 93.6%）を保有します。

（3）優先株式

メタプラネットは、クロージング後、転換型永久優先株式 100 株を保有します。これにより、メタプラネットは、Superplanet の取締役会の過半数の取締役を指名する権利を含む一定の議決権を有することとなります。

（4）ワラント

メタプラネットは、異なる行使価格が設定された 4 つのトランシェで構成され、最大 381,000,000 株の普通株式を購入できる、期間 10 年間のワラントを受領します。投資家である Evo Fund は、別途、異なる行使価格が設定された 2 つのトランシェで構成され、最大 10,000,000 株の普通株式を購入できるワラントを受領します。

（5）引受権

クロージング後 24 か月間、メタプラネットは、1 株当たり額面 100.00 米ドルの非転換型ジュニア流動性支援優先株式を最大 2,100,000 株引き受ける権利を有します。これにより、メタプラネットは Superplanet に対して最大 2 億 1,000 万米ドルを追加投資することが可能となります。

(6) ロックアップ

クロージング時にメタプラネットに発行される普通株式、並びにメタプラネットが保有するワラントの行使又は転換型永久優先株式の転換により発行され得る普通株式は、すべて 5 年間のロックアップの対象となります。メタプラネットは、Superplanet の持分を長期的かつ戦略的に保有する方針です。

(7) ディスカウント発行なし

Superplanet の普通株式の市場価格を下回る価格で発行される証券はありません。メタプラネットが保有するワラントの行使価格は、1 株当たり 3.00 米ドルから 33.50 米ドルまで、トランシェごとに段階的に設定された固定価格となっています。また、第三者に対するディスカウント・ファイナンスありません。

(8) 商号変更

Super League は、クロージング時に商号を「Superplanet, Inc.」に、ティッカーシンボルを「SUPA」に変更します。10 年以上にわたり世界有数のブランドにサービスを提供してきた Super League の広告・メディア・アクティベーション事業は、独立した事業セグメントとして継続されます。

(9) 経営体制

Super League の最高経営責任者 (CEO) であるマット・エデルマンが、Superplanet の CEO に就任します。Superplanet の取締役会議長は、クロージング時にメタプラネットが指名します。Superplanet の取締役会は、当初 9 名の取締役で構成されます。このうち 5 名はメタプラネットが指名し (サイモン・ゲロヴィッチ、フレデリック・トーフイグ及びジョン・H・ホワイトハウス 3 世を含み、残る 2 名はクロージングまでに指名される予定です)、その他の 4 名はマット・エデルマンを含む留任する Super League の取締役です。

(10) クロージング

本取引は、Super League の株主による承認、Nasdaq への所要の届出、並びに日米において適用される規制上の手続を含む通常のクロージング条件が充足されることを前提に、2026 年第 4 四半期にクロージングする見込みです。

想定される事業戦略

Super League とメタプラネットは、ビットコイン・トレジャリー企業が発行する優先証券について、米国ではすでに一定規模の市場が形成されており、確立されたスポンサーのバランスシートを後ろ盾とする新たな発行体にも市場参入の余地があると考えています。

Superplanet が保有するビットコインは、将来の永久優先株式の発行を支える担保基盤として保有されます。永久優先株式は、満期や返済予定のない恒久的な資本であり、非転換型として設計することにより、普通株主の長期的な希薄化を抑制しながら資本を調達することができます。Superplanet は、メタプラネットとともに、将来の発行規模について、資産カバレッジを踏まえ、時間をかけて保守的に決定していく方針です。営業利益その他の希薄化を伴わないキャッシュフローを配当の支払原資に充当します。メタプラネットの Superplanet に対する経済的持分 (普通株式、優先株式及びワラントを含む) は、すべて Superplanet が将来発行し得る優先株式に劣後します。

また、メタプラネットは、日米において適用される規制上の要件に従うことを前提として、Superplanet が将来発行し得る証券について、既存の子会社を通じて日本国内での販売に関与する可能性を検討する方針です。現時点において、いかなる証券の発行又は募集の決定もなされていません。

Superplanet は、本取引の完了後、現在メタプラネットが行っている開示実務と整合する形で、独自の 1 株当たりビットコイン指標を公表する予定です。メタプラネットは、連結ベースで当該指標を報告いたします。

Super League について

Super League (Nasdaq: SLE) は、ゲーミング及びデジタルメディア・プラットフォームを横断した広告・

ブランドコンテンツ・プログラムを通じて、世界 33 億人のゲームユーザーとブランドをつないでいます。Super League は、独自のインタラクティブ・フォーマット、クリエイター・コンテンツ、没入型体験、データドリブンなインサイト、及びマーケティング効果の向上を目的とした戦略的キャンペーン・サービスを通じてこれらのプログラムを提供し、収益化しています。プレイヤーの行動データを実用的なインサイトへと転換することで、Super League は、ゲームを楽しむ消費者にリーチし、影響を与えたいブランドにとって信頼できるパートナーとなっています。エンゲージメントが高い一方で十分に収益化されていないこのオーディエンスに対する深い理解を強みとして、Super League は、市場の成長に伴い、ブランド広告支出に占めるシェアを拡大していくことを目指しています。詳細は www.superleague.com をご覧ください。

メタプラネットについて

メタプラネット（東証：3350/OTCQX：MPJPY）は、ビットコインを基盤とする金融商品及びインフラを構築する東京証券取引所上場会社です。2026 年 8 月 18 日現在、メタプラネットは 43,000 BTC を保有しており、上場会社のビットコイン保有量として世界第 3 位となります。この基盤の上に、メタプラネットは、第一種金融商品取引業の免許を有する証券会社、資産運用部門、ビットコイン・インカム創出事業、ベンチャー投資プログラム、並びに日本を代表するビットコイン・メディア及び教育プラットフォームからなる、成長を続ける金融事業ポートフォリオを運営しています。詳細は www.metaplanet.jp をご覧ください。

追加情報及びその入手先

本取引に関連して、Super League は、米国証券取引委員会（以下「SEC」）に対し Schedule 14A に基づく委任状勧誘書類（以下「プロキシ・ステートメント」）を提出する予定であり、その確定版は Super League の株主に送付又は提供される予定です。Super League は、本取引に関してその他の書類を SEC に提出することがあります。本プレスリリースは、プロキシ・ステートメントその他 Super League が SEC に提出する可能性のある書類に代わるものではありません。投資家及び証券保有者の皆様におかれては、本取引及び関連事項に関する重要な情報が記載されている、又は記載される予定であるため、SEC に提出済み又は提出予定のプロキシ・ステートメント及びその他の関連書類（これらの修正及び補足を含みます）の全文を注意深くお読みくださいますようお願いいたします。投資家及び証券保有者は、プロキシ・ステートメント（提出され、入手可能となった時点）及び SEC に提出済み又は提出予定のその他の書類を、SEC のウェブサイト（www.sec.gov）又は Super League のウェブサイト（www.superleague.com）から無料で入手することができます。http://www.sec.gov/

勧誘における参加者

Super League 並びにその取締役、執行役員及びその他の従業員の一部は、本取引に関する Super League の株主からの委任状勧誘における参加者とみなされる場合があります。参加者の氏名及び証券保有その他による直接又は間接の利害関係に関する追加情報は、本取引に関連して SEC に提出されるプロキシ・ステートメントその他の資料に（入手可能となり次第）記載されます。SEC に提出又は提供されたこれらの書類は、SEC のウェブサイト（www.sec.gov）又は Super League のウェブサイト（www.superleague.com）から無料で入手することができます。http://www.sec.gov/

募集又は勧誘の否定

本プレスリリースは情報提供のみを目的とするものであり、証券の売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘を構成するものではありません。かかる申込み、勧誘又は売買が違法となる法域においては、いかなる申込み、勧誘、購入又は売却も行われません。本取引において発行される証券は、改正後の 1933 年米国証券法に基づく登録がなされておらず、登録又は適用される登録免除なしに募集又は販売することはできません。

将来見通しに関する記述

本プレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法のセーフハーバー条項にいう、重大なリスク及び不確実性を伴う「将来見通しに関する記述」が含まれています。将来見通しに関する記述は、「予想する」「意図する」「継続する」「可能性がある」「計画する」「目標とする」「目指す」「信じる」「予測する」

「潜在的」「見積もる」「期待する」「戦略」「将来」「可能性が高い」「かもしれない」「すべきである」「であろう」等の語及び将来の時期を示すその他類似の表現、これらの語の否定形、その他 Super League の期待、戦略、計画又は意図を示す類似の用語若しくは表現によって識別することができます。将来見通しに関する記述の例としては、特に以下に関する記述が含まれます。(i) メタプラネットに発行される Super League 普通株式と引き換えに Super League が受領するビットコインの価値、(ii) 本取引の完了を前提とした Super League の価値、(iii) Super League がメタプラネットの連結子会社となること、(iv) ビットコイン・トレジャリー・モデルに関する Super League の新たな事業戦略、(v) 本取引完了後の Super League の資本調達能力（追加のビットコイン購入のための将来の優先株式発行の可能性を含みます）、(vi) 本取引完了後における将来の優先株式発行の条件、(vii) 本取引完了後のビットコイン関連指標の公表、(viii) 本取引により期待される効果、主要条件及びストラクチャー、(ix) 本取引に関する Super League の株主による承認、(x) 本取引完了の想定時期、並びに(xi) Super League の今後の事業戦略及び計画。将来見通しに関する記述は、歴史的事実を示すものでも、将来の業績を保証するものでもありません。これらは、事業の将来、将来の計画及び戦略、予測、予想される事象及び動向、経済その他の状況に関する Super League の現在の信念、期待及び前提のみに基づくものです。将来見通しに関する記述は将来の事象に関するものであり、その性質上予測が困難です。また、その多くは、Super League の支配が及ばない固有の不確実性、リスク及び状況の変化の影響を受けます。これらの将来見通しに関する記述は将来の結果を保証するものではなく、実際の結果又は財務状況が将来見通しに関する記述に示されたものと大きく異なる原因となり得るリスク、不確実性及び前提の影響を受けます。Super League を含むいかなる者も、将来見通しに関する記述の正確性又は完全性について責任を負うものではありません。したがって、これらの将来見通しに関する記述に過度に依拠すべきではありません。

実際の結果及び財務状況が、将来見通しに関する記述に示されたものと大きく異なる原因となり得る重要なリスク要因には、以下が含まれますが、これらに限定されません。(i) ビットコインの市場価格の変動及びこれに伴うデジタル資産の未実現損益（Super League のビットコイン保有に係る会計処理を含みます）、(ii) ビットコインの価格又は Super League によるビットコインの取引・保有能力に悪影響を及ぼす、ビットコインに関する証券法その他の法令の変更又は新たな法令の制定、(iii) 永久優先株式に係る将来の配当を資本の払戻しとして取り扱う税務上の取扱いに影響を及ぼし得る、Super League の税務上の利益（earnings and profits）の将来の変動、(iv) ビットコインその他のデジタル資産に係る現物上場取引商品（ETP）その他の投資ビークルの利用可能性による影響、(v) ビットコインが取引される市場における流動性の低下、(vi) セキュリティ侵害、サイバー攻撃、不正アクセス、秘密鍵の喪失、詐欺その他の状況・事象による Super League のビットコイン（カストディ・パートナーが保有するビットコインを含みます）の喪失、(vii) デジタル資産業界の参加者の財務難及び破綻に伴うビットコインの価格及び普及速度への影響、(viii) Super League の新たな商品・サービスに対する市場の受容の程度及び時期、(ix) 顧客需要及び普及トレンドを創出する Super League の能力、(x) 新たな技術及びパートナーシップの統合を成功させる能力、(xi) クローニング条件の充足を含む、想定される条件及び時期での本取引の完了、(xii) プラットフォーム、規制、マクロ経済及び市場の状況、(xiii) 2025 年 12 月 31 日に終了した事業年度に係る Super League の Form 10-K 年次報告書の「リスク要因」の項に記載されたその他のリスク及び不確実性（Super League が SEC に提出するその他の報告書により随時修正、補足又は更新されることがあります）、並びに(xiv) 上記の入手先から入手可能となるプロキシ・ステートメントに記載される予定のリスク及び不確実性。これらのリスク及び本取引に関連するその他のリスクについては、SEC に提出されるプロキシ・ステートメントにおいてより詳細に説明されます。本プレスリリース及びプロキシ・ステートメントに記載される要因は例示的なものではありませんが、潜在的なリスク及び不確実性のすべてを網羅するものではありません。記載されていない要因が、将来見通しに関する記述の実現を妨げる重大な追加的要因となる可能性があります。将来見通しに関する記述で想定されたものと実際の結果が大きく異なった場合の帰結には、特に、事業の中断、運営上の問題、経済的損失、第三者に対する法的責任及びこれらに類するリスクが含まれ、そのいずれもが Super League の財務状況、経営成績、信用格付又は流動性に重大な影響を及ぼす可能性があります。本プレスリリースにおいて Super League が行う将来見通しに関する記述は、現在 Super League が入手可能な情報のみに基づくものであり、当該記述がなされた日現在においてのみ有効です。Super League は、証券法その他の適用法令により別途義務付けられる場合を除き、新たな情報、将来の進展その他の予期せぬ事象によるものか、状況の変化によるものかを問わず、随時なされ得る書面又は口頭によるいかなる将来見通しに関する記述についても、

公に更新する義務を負わず、そのような義務を明示的に否認します。

報道関係者お問い合わせ先

Super League

Allan Rosenthal
Intelligent IR ATX
abrosey@intelligentiratx.com

メタプラネット

中川 美貴
IR 部長
<https://metaplanet.jp/ja/ir-contact>

以 上